

## 第V章 自由回答

最後に、埼玉県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会についてご意見やご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会についての意見や要望に対して、女性 137 人、男性 102 人、性別無回答 9 人、合計 248 人から、269 件の回答が寄せられた。

ここでは、意見や要望を内容ごとに分類し、その一部を掲載する。

なお、一人の回答が複数の内容にわたる場合には、原文の内容の趣旨がそこなわないよう回答を分け、それぞれを 1 件として分類している。また、掲載については、なるべく多くの方の意見や要望を掲載するため、回答の文中から一部抜粋した場合もある。

## 【男女共同参画について】

- ◎ 私が勤めている仕事の内容は男女の区別なく出来る仕事です。しかし県内では（都内でも）女性しか雇わない企業があります。HP でそのようなことをにおわせている企業もあります。男性でも、性別や年齢で差別があることを知ってほしいです。（男性／40 歳代）
- ◎ 私は、男女が平等であった方がいいとは思いますが、男の人と女の方は、（人にもよりますが）本質がもともと違うので、やはり仕事によっては能力に差が出てきてしまうと思います。（女性／30 歳代）
- ◎ 男女平等は完全には無理だが、なるべく世界（先進国）の基準に合わせることは必要だと思います。（男性／30 歳代）
- ◎ 私は、男女共同参画とはDV等のことだけだと思っていました。（女性の地位向上等が含まれていると思いませんでした。）（女性／40 歳代）
- ◎ 男女は別のものなので平等には成り得ません。しかし、社会的、文化的整備は必要であると思います。女性が社会的弱者として虐げられている側面があるならば、是正されてしかるべきだと思います。（男性／30 歳代）
- ◎ 男女平等とは、女性ばかりでなく男性側への配慮も必要だと思います。また、男女平等＝男らしさ、女らしさの喪失につながるようにはなってほしくないと感じます。（女性／40 歳代）
- ◎ 男女それぞれの特性を生かして社会に貢献することが重要です。（男性／70 歳以上）
- ◎ 理想は男女平等で社会でも家庭でも男女が活躍できるとよいと思います。現実には、男女それぞれの得意分野もちがうので、全てにおいては難しいのかなと思います。（女性／30 歳代）

- ◎ 男女の人権や労働機会等の権利は当然に“平等”にするべきだが、男と女は性質が異なるので、何でもかんでも平等にはならない。むしろ、給料や待遇等を“平等”ではなく“公平”ということをお忘れしないで施策しないといけないと思います。(男性/40歳代)
- ◎ 共同参画は、男性、女性が全く同じということではなく、各々の特性を活かすことが平等と考えます。各々が得意とすることをうまく活かしていける社会が共同参画なのではないでしょうか。(女性/40歳代)
- ◎ 「男女共同参画」という言葉がとっても難しく親しめないと思いました。もっとわかりやすい言葉で表現できたら、身近に感じて意見も言いやすいのではないかと思います。(女性/50歳代)
- ◎ 性差はあると思います。それぞれの特性を生かして共栄していくことが望ましいと思います。お互いを尊重していくことが大切だと思います。(男性/60歳代)
- ◎ 差別はなくすべきですが、性差による合理的な男女の区別は必要と考えます。(男性/50歳代)

### 【子育て・介護について】

- ◎ 男女共同参画社会にはたいへん良いと思いますが、子供について考えると常に家庭には親が居ることが大切であるし、又は地域の住人が子供を見ていることが必要であり、地域とのつながりを多くすることが重要です。(男性/60歳代)
- ◎ 共働き世帯が増えているため、保育所等の問題も出てきています。子供を欲しい人が安心して産み、育てることのできる環境作りを望みます。(女性/20歳代)
- ◎ 妊娠希望（不妊治療中など）で職を辞めた人もいたので、その場合、夜勤の免除などがあればよいと思いました。(女性/30歳代)
- ◎ 育児に専念する時間もとても大切な時間だと思います。しっかり家庭で育児をしてから、また正社員に戻り有給休暇や賞与を普通にもらえる職がある事が大切だと思います。今、育児に専念すると職をなくすからと、泣いている子供を預けて働くという考え方もあり、とても残念です。親子で育む時間は、人としてとても大切な時間だと思います。(女性/40歳代)
- ◎ 保育施設の充実をはかることについて。保育士していますが、給料が安価で、保育の質はどんどん低下しています。実際、誰でもいいから保育士免許持っている人を雇っているという状況です。なぜならば、保育士不足のためです。免許持っている人が働きたいと思える保育施設を増やさなければ大変なことになるのではと心配です。(女性/30歳代)

- ◎ 私は現在1才未満の子供を1人育てています。仕事は育休中です。夫は毎日朝早くから夜遅くまで働き、土日もほとんどありません。母子家庭と言っても過言ではない状況で、夫は子育てに積極的に関わりたいくても関わることができないのが現状です。制度として男性の育休はありますが、積極的取得をすすめる上司、先輩がいないのが現状なので、なかなかこちらでも取ることができません。ワーク・ライフ・バランスで月1回、定時退勤をというものがありますが、形ばかり、定時に帰れたことはありません。行政側に求めるのは、制度をつくって安心ではなく、もっと管理側に強い指導をしてほしいということです。色々共働きしやすい制度は整ってきているように思いますが、現状は全て形ばかりです。 (女性/30歳代)
- ◎ 保育園に子供を預けても、子供が多いと仕事をしていても赤字になってしまいます。子供が多い家庭の補助があれば助かります。 (男性/40歳代)
- ◎ 子供のいる家庭の主婦は働きたくても子供をみてる施設がなかったり、夫の協力がなかったり等の話をよく聞きます。子供のいる主婦が自由に社会に出られる環境を整えてもらいたいです。 (女性/40歳代)
- ◎ 子供(男)が海外に住み、子育てで生後半年~1年育児休暇をとり、小学校に入学すると登下校の送り迎え、病気をした時は保護者の休暇が義務付けされているそうです。日本は職場の規約の改善が必要だと思います。男性が家庭に戻れば、共同参画も進むと思います。 (女性/70歳以上)
- ◎ 社会は少子高齢化がますます進みます。女性が子供を安心して産み、育て、健全な家庭を築けるようパートナーの理解、職場の理解が不可欠です。高齢者でも子育ての先輩としてお手伝いできます。母親も安心して職場に再就職して社会の一員として活躍できる社会にしなければいけないと思います。健全な家庭、両親のまじめに働く姿を子供達に見せる事が大切だと考えております。 (女性/70歳以上)
- ◎ 介護、育児の福祉の分野では男性のための教室も盛んなので、地域の勉強会の活性化も参画につながるのではないかと思います。 (女性/40歳代)

### 【意識改革・啓発について】

- ◎ 男性が積極的に家庭に参加し、学校行事や子供との関わりをもっと持つようになって、女は育児が当たり前という考え方をなくしてほしいと思います。 (女性/30歳代)
- ◎ 男女(夫婦)でお互いに、仕事や家事でつらい思いをしたり、疲れていたりすると、相手を理解したり、協力したりする余裕がなくなってしまうように思います。男女がどの場面においてもお互いに理解し合うという意識を持つことが大事ですが、考え方の違いもあるため、難しい部分もあると思います。 (女性/20歳代)

## 第V章 自由回答

- ◎ 専業主婦（夫）の老後の不利益について、成人だけでなく義務教育期間中に知らせることが重要です。 (男性／60 歳代)
- ◎ 多くの県民が積極的に参加できるサービス等の充実。身近な所にもあれば、一人ひとりの意識ももっと高まると思います。 (女性／50 歳代)
- ◎ 子供の頃からしっかりと男女共同参画の意義、意味、必要性を教育し、成人後に期待すべきです。それまでの時間を無為に過ごす訳にもいけないので、法律、制度、施設の向上、充実を図りながら、男女の意識改革を推進していく必要があります。 (男性／50 歳代)
- ◎ 「女性は家庭優先」と考えられてきた時代の名残が色濃く残っています。せっかく制度として存在しても、やってこなかったからとその流れに乗ってしまうことも多いのだらうと思います（男性側の視点）。やはり、この流れを断ち切るのは制度、法律の整備された現状の若者世代の仕事であり、これには管理職の意識理解も不可欠です。 (女性／20 歳代)
- ◎ パワハラ、セクハラ、マタハラ、DV等について、男性は女性に対して性の対象とみているからだと思います。男性の意識が変わらないとこの問題はなくならないと思っています。 (女性／70 歳以上)
- ◎ 賃金、雇用における差別をなくし、女性の経済的自立を図らなければ平等度は上がりません。それは非正規労働と正規労働の均等待遇を実現することであって、行政指導や事業主の意識改革も必要だと考えます。 (女性／50 歳代)

### 【社会制度について】

- ◎ 私が子供を産んだ頃、産休も育休もなく、保育所も入れてもらえず、どんなにつらくても子供をおぶって仕事をしていました。現在のように産休や育休がとれるのは良いことだと思いますが、非常に取りづらいことも理解していただきたいです。90 才になる母を介護しながらパートに出ていますが、有給休暇すら取ることができません。社会全体で理解し合うことが大事ではないかと思います。 (女性／50 歳代)
- ◎ 日本は世界に比べると女性が社会に進出しにくいと聞いたことがあります。昔からの風習や文化が影響しているのかもしれませんが、女性が社会で活動しやすくなるような社会をつくっていけるようにできたらいいのかなと思います。 (女性／30 歳代)
- ◎ これからは少子化になり社会・地域も男女平等に活躍できればと思いますが、給与・年金など収入面でも厳しいと思います。若い方、高齢者も平等で社会を盛り上げてほしいです。 (女性／40 歳代)

- ◎ 育児休業については法律が改正されたり、会社内の制度が改正されたり、男女の取扱いが平等になっても、実際に取得するのは女性ばかりで男性はあまりいません。時短勤務についても同じことが言えると思います。(女性/20歳代)
- ◎ 施策の画一化ではなく、女性が男性と同じ条件下で働かなくとも満足して生活できる社会が必要だと思います。女性の地位向上には賛成です。(男性/40歳代)
- ◎ 私は15才~65才まで正社員として同じ会社で働き続けることが出来ました。主人も一緒です。入社2年目に労働組合ができ、女性社員が働き続けられるように会社との交渉を重ねてきてくれたからだと思っています。(結婚退職制なし、共働きOK、残業が断われる、年休が自由にとれる、生理休暇有休、日給から月給制、男女の賃金差がない、子供が病気の時休める、0才の保育園があった、学童保育があった等)主人も一緒の子育て、家事の分担ができました。パート、バイトが増え社員化させない企業が増え、女性の貧困、子供の貧困、安心出来る場所である家庭がおかしくなっていると思います。子供ができるとマタハラ、働き出すとセクハラ、家庭に入るとモラハラ、まだまだ女性は大変です。男社会を変えたいです。(女性/60歳代)

## 【行政施策への要望について】

- ◎ 行政として、何かしらのアクションをおこしていることはわかりましたが、ハード面、形だけのものに片寄っていないようにしてほしいです。(男性/60歳代)
- ◎ 最も大切なのは、男性がある程度働け、稼ぐことのできる環境作りと、ブランクのある女性も働きやすい仕組みかと思っています。そのためにも非正規雇用があまりに増えてしまうのは問題です。行政が行っていることと、市民の感じていることにはズレがあるように感じています。もっと周知させること、web等も活用してより多くの人の意見を集めることも大事だと思います。(女性/20歳代)
- ◎ 性や固定化した発想からの視点ではなく、「人を人として」どう考えるかの教育、大切にされているという喜びを感じる(平等)ことができる関係、その存在がかけがえのないものであることが伝わる社会を作りたいと願います。今、思春期を生きている子供たちが、どの子も生きることが嬉しいと感じることのできる地域と社会の発展に、大人はどう関わったらいいか、何をなすべきか、考えるチャンス、情報にたくさん触れる企画もあったら良いと思います。(女性/60歳代)
- ◎ 掛け声倒れにならず、具体的に且つ積極的な取り組みを期待します。(男性/60歳代)
- ◎ いろいろと共同参画のために動いていることがわかりました。住みやすく楽しく生活できる環境を期待します。(女性/50歳代)

## 第V章 自由回答

- ◎ 国の方策の女性労働、人口減の労働力を補うということについて、女性ばかりに負担（家事、子育て、仕事）を増やしていると思います。人口減の原因は、企業の長時間労働、非正規雇用の増加であり、自らの首をしめていることに気付いてほしいです。また、国や自治体で、まずしてもらいたいことは、安い公共住宅（良質なもの）の整備、子供の教育費の補助などです。いくら働いても高い住宅ローン、教育費がかかるようでは、可処分所得は増えず、経済効果、人口増は望めません。 (女性/40歳代)
- ◎ 暴力について。私はパートナーから暴力等は受けていませんが、本当によく「主人に暴力を受けている方」から相談を受けます。（一人、二人ではありません）なかなか夫婦となると警察は動けないようです。もっと市や県が訪問等を行い、親身になってくれることを願います。また、離婚をしたくてもできない女性が多いです。 (女性/40歳代)
- ◎ 男女平等の価値観が広まるように、この調査結果を含む現状（実態）を周知してほしいです。もっと男女平等に関する情報や知識をまとめた冊子など1家庭に1つは置いておくような、そういう冊子があればいいと思います。（知識・情報の共有） (男性/20歳代)
- ◎ 知事や副知事が女性になること、県議会議員の半数が女性になること、公的な場に登場する人（役・職員）が男女同数になること、女性がテーマの場だけ女性が集まっていて、それ以外の場では女性の存在がマイナーであることが、国政レベルから地方行政まで一貫してしまっています。重要な意思決定の場から女性が排除されているように、国内外誰が見ても明らかです。それを変えなければ社会は変わらないのではないかと思います。 (女性/50歳代)
- ◎ “With You さいたま”などの施設について知らなかったのも、そういった施設や活動についてもっと知る機会がほしいです。 (女性/20歳代)
- ◎ 実際に良い方向に変わったなどみんなが感じられるようにしてほしいと思います。話だけ進んでいても実感できなければ意味がないように思います。 (女性/30歳代)
- ◎ 男性には家事、育児の分担、女性には積極的な社会進出、これを制度、施設でサポートするのが地方自治体、国の役割。 (男性/50歳代)
- ◎ 女性が社会に出て働けるようにするために、皆が優しい目で協力できるようになればと思います。また、男性も生活できる賃金がいただけますように。非正規社員のような形でしか働けない世の中はおかしいと感じます。 (女性/60歳代)
- ◎ 若い方々が結婚し家庭を築き、豊かに楽しく暮らすことのできる施策援助をお願いします。 (女性/60歳代)
- ◎ きちんと性教育を受けていない大人の教育とその子供たちの教育の充実を願っております。これから未来を担う子供たちへの性教育は大変重要と思っています。 (女性/40歳代)

- ◎ 所得格差が大きいので、その是正や低収入者の底上げに力を入れてほしいです。  
(男性/70歳以上)
- ◎ 「埼玉少子化対策」に切替え、施策を進めてほしいと思います。今一番主要なことは若者(男女)の結婚、出産です。これに総ての力を投入すれば経済もあらゆる事が解決します。埼玉県はそれが可能な日本一の県です。  
(女性/70歳以上)
- ◎ 「女性に対する暴力について…」の項目の量(ページ数、質問の細かさ)が多いなと感じ、それだけ気を配っていただけ、「頼りになるな、もし困ったことがあったら相談していいのだな」と嬉しく思いました。今私にはそのようなことはありませんが、悩んでいる方、周りに相談できない方も多いためと思います。今後さらなる活動に期待しております。  
(女性/30歳代)
- ◎ 赤ちゃんから高齢者の方々が安心して暮らすことのできるまち作りをしていただけたらと思います。(保育施設、老人ホームの充実)  
(女性/40歳代)
- ◎ 実施可能なことは小さなことでも積極的に始め、その幅を徐々に広げていくべきと考えます。  
(男性/70歳以上)
- ◎ 「埼玉県男女共同参画推進センター」があることは知っていたが実際にどのような活動をしているのかは知らない人が多いのではないかと思います。また利用できることも知りませんでした。もっと広く知られるようにした方が良くと思います。  
(女性/60歳代)
- ◎ 女性と男性が平等に活動していくのは、思考や身体能力など、根本的なところが違うため難しい部分があるとは思いますが、それでも共に働き、支え合って生活をしていくことが望ましく、また互いの負担を軽減させる最良の関係だと思えます。そのためにも、社会全体、会社や地域など様々な人の理解と協力、そして、それに伴うサービスや制度の充実がかなり重要かと思えます。「女性だから」「男性だから」ではなく、みんなが住みやすく心地の良い環境作りが出来たらいいなと思えます。  
(女性/30歳代)
- ◎ 社会が変化し、これまで意識していなかったような言動が差別や暴力と見なされるようになりました。私自身、研究者などを通じて気付かされます。公的な機関やマスコミのチカラに期待します。  
(男性/50歳代)